

ホテル・観光 | 体験前の 不安を解消し、 予約へつなぐ動画企画

制作会社のノウハウを、社員が再現できる運営の仕組みへ。

景色の魅力を、予約前の判断材料につなぐ。

この資料で整える5つ

旅行者が体験前に抱く疑問

アクセス・客室・食事・過ごし方の企画

季節や提供条件の確認

予約ページと問い合わせへの案内

予約と来訪の反応を振り返る方法

映える場面に加え、実際にどう過ごせるかが分かる説明をそろえます。

雰囲気だけでは、旅の準備が進まない。

見直したい兆候

アクセスや到着後の流れが見えない

どの客室やプランの映像が分からない

天候や季節による条件が抜ける

予約ページの内容と動画が合っていない

魅力を伝える映像と、体験するための具体的な案内をつなげましょう。

予約前の質問から、**一本のテーマ**を選ぶ。

質問の例

どうやって現地まで行くか

到着してから何をすればよいか

客室や食事はどのプランに含まれるか

滞在中にどう過ごせるか

体験前に何を準備すればよいか

誰といつ行くかで疑問は変わります。想定する旅の場면을企画メモに残します。

体験の流れに沿って、必要な情報を集める。

アクセス

移動と到着までの案内

滞在

客室・食事・施設の使い方

地域体験

参加する流れと確認事項

準備

天候・季節・持ち物などの確認

確認できない条件を断定せず、最新情報や個別の相談先へ案内します。

制作実務と育成実務を、 同じ流れで教えられる。

ショート動画屋さんは、広告、SNS運用、通販、営業、採用など目的の異なる動画を
200社以上・3,000本以上制作してきました。

ディレクター・構成・撮影・編集を分け、複数人で速く品質を揃える制作フローを運用しています。

制作フロー（役割を分けて、速く品質を揃える）

ディレクター

目的・ターゲット・
企画の方向性を
決める

構成

台本・構成案を
作成する

撮影

構成に基づき
撮影する

編集

カット・テロップ・
BGMなどを整え
仕上げる

内製化支援での引き継ぎ

実際に制作へ携わる担当者が、
この流れを企業の人員・目的・
頻度に合わせて移します。

実際の流れをそのまま社内で再現し、**制作を続けられる体制**をつくりましょう。

一本で、一つの不安を解消する。

企画の例

入口から受付までの流れ

客室で使える設備の紹介

食事会場や提供の流れ

地域体験の集合から終了まで

天候が変わったときの確認方法

施設やプランごとの違いを明記し、一つの映像をすべての体験に当てはめないようにします。

台本は、疑問・体験・条件・予約で組む。

冒頭

予約前の疑問を一つ示す

本編

現地の映像とスタッフの説明で答える

補足

対象プランや提供条件を添える

最後

該当する予約ページや確認先へ案内する

一本に全施設を詰め込まず、見た人が次に何を確認するかを明確にします。

撮影時の条件と、公開できる範囲を残す。

撮影前後に確認すること

対象の客室・施設・体験

撮影日・季節・天候などの条件

通常提供と撮影用の違い

利用者やスタッフの映り込みと同意

立入範囲・安全・撮影許可

営業や体験の安全を優先し、撮影のために通常と違う印象を作りすぎないようにします。

公開前に、プランと提供条件を照合する。

確認する項目

- 映像が対象とする施設やプラン
- 営業・開催する期間と時間
- 含まれる内容と別途確認すること
- 変更時の案内と確認窓口
- 予約ページ・アクセス情報・リンク

条件が変わったときの修正や公開停止を**担当する人**と、**見直す日**を決めます。

予約ページまで、**同じ体験の説明**でつなぐ。

導線で確かめること

動画と予約先が同じプランを指す
空き状況と最新条件を確認できる
移動や集合の案内へ進める
個別の要望を相談する窓口がある
変更時に確認する情報が分かる

動画で約束できない内容は言い切らず、予約前に確かめる事項として案内します。

地域と現場の知見は、社内に残す。

社内で担う

旅行者の疑問、現場調整、提供内容の確認、スタッフ出演、来訪後の反応

外部へ相談する

初期の企画設計、専門撮影、高難度編集、広告配信、第三者レビュー

季節や繁忙期の負荷を踏まえ、外部に任せる工程と更新の担当を明確にします。

保存から予約ページ・予約・来訪まで見る。

保存

旅の検討に残したい情報になったか

予約ページ

条件の確認につながったか

予約

想定する体験の予約へ進めたか

来訪

現地での理解と残った疑問は何か

季節・天候・プラン・予算・導線の違いを記録し、動画だけの効果と断定しません。

質問**10個**を集め、月**4本**で検証する。

モデルケース

現場の質問と誤解を10個集める

月4本でアクセス・滞在・体験を試す

予約時と来訪時の反応を記録

負荷の高い工程だけ外部へ相談する

これは実績や成果保証ではなく検証のモデルです。反応の良い切り口を次の企画に活かします。

90日で、**季節の更新まで含む**運用を整える。

0～30日	疑問・プラン・撮影条件・担当を整理
31～60日	少数の制作と予約導線の確認を回す
61～90日	予約後の声と負荷を見て企画を更新

期間は目安です。季節や提供内容が変わる時期も見直しの予定に含めます。

最初的一本で、体験前の疑問に答える。

今日決める5つ

対象とする旅の場面と一つの疑問

紹介する施設・プラン・体験

撮影条件と公開前の確認者

案内する予約ページと相談先

来訪後の反応を振り返る日

ショート動画屋さんの内製化支援では、貴社に合う役割・手順・改善方法を一緒に設計します。

自社の内製範囲を相談する